

阪神タイガースの18年ぶりセ・リーグ優勝を祝うパレードが3日、大阪市のメインストリート・御堂筋で行われた。雨にもかかわらず、沿道を埋め尽くした約40万人のファンが阪神の今シーズンの健闘をたたえた。

星野仙一前監督(56)が「最後の縦じま(ユニホーム)姿です」とあいさつ。吹奏楽隊の演奏に合わせてファンが六甲おろしを大合唱する中、岡田彰布新監督(45)や選手、

コーチら約60人が分乗した3台のオープンカーがゆっくりと大阪市北区の市役所前をスタート。約45分かけて約2キロを行進した。

御堂筋で阪神の優勝パレードが行われるのは初めてとあって、雨中の沿道には徹夜組を含む大勢の虎ファンが詰め掛け、歓声や拍手で熱気は最高潮に達した。

星野監督、ありがとう!

雨の御堂筋に熱烈虎党40万人  
阪神Vパレード

日刊スポーツ  
NIKKAN SPORTS

11月3日  
月曜日  
2003年(平成15年)  
PM3:00

写真=18年ぶりのセ・リーグ優勝を祝い、ファンの声援を受け大阪・御堂筋をパレードする阪神の選手たち(共同)

写真=18年ぶり優勝パレード出発前に満面の笑みでファンにあいさつする星野前監督(共同)